

| | | | |
|-------------|--|--|-----|
| 講習の名称 | 動きづくり教育の可能性 | 講習番号 | B |
| 開催日 | 平成25年8月19日(月) | 定員 | 50名 |
| 主な受講対象者 | 小学校教諭、中・高等学校保健体育教諭 | | |
| 担当講師 | 天野 勝弘(経済学部准教授) | | |
| 講習の概要 | <p>保健体育教科の目的の一つは、動きを通して人間の社会的側面(知識、社会性、道徳など)に働きかけ、それらを高めていくことである。そこで、本講習では、ヒトにとっての動きの原点を確認し、動き教育がもつ可能性を考えることにしたい。具体的には、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 姿勢について 講義「よい姿勢とは何か」、実習「各自の姿勢の評価(若干の測定)」 2. ダンスによる動き教育の可能性 講義「引き込み現象など」、実習「ヒップホップダンスはスポーツや日常行動の改善に役立つ」 3. 様々な動き教材の体験(実技) | | |
| 講習計画 | 09:30～10:10 (40分) | 姿勢について 講義「よい姿勢とは何か」 姿勢をとらえる視点は様々である。美しい、動ける、楽である、これらはすべてよい姿勢の概念にあてはまる。本講では、姿勢制御を含め、よい姿勢について考えることにしたい。 | |
| | 10:10～11:00 (50分) | 姿勢について 実習1「各自の姿勢の測定と評価」 ここでは、自分の姿勢を客観的にみつめる作業を行う。すなわち、姿勢を評価するためのいくつかの測定を実施する。姿勢の写真撮影、スパイナルマウス(背骨の形状計測)、足圧分布など。 | |
| | 11:00～11:10 | 休憩 | |
| | 11:10～12:00 (50分) | 姿勢について 実習2「各自の姿勢の測定と評価」 全講義に引き続き測定を継続するとともに、得られたデータの分析方法や解説をおこなう。最後に、各自で自分の姿勢を評価してみましょう。 | |
| | 12:00～12:50 | 昼食休憩(含む、着替え、移動) | |
| | 12:50～13:50 (60分) | 様々な動き教材の体験(実技) 動きは人間が自然に獲得するものでもあるが、教育される部分もある。基本動作(立つ、歩くなど)においてもそうである。ここでは、動きの教育的可能性を探るような実習にした。 | |
| | 13:50～14:00 | 休憩 | |
| | 14:00～15:00 (60分) | ダンスによる動き教育の可能性 講義「引き込み現象など」 人間はリズムカルな運動をする時に、運動がある一定パターンへと引き込まれてしまう「引き込み現象」という特徴を示す。本講義では人間の神経系が持つ様々な引き込み現象について紹介する。 | |
| | 15:00～15:10 | 休憩 | |
| | 15:10～16:10 (60分) | ダンスによる動き教育の可能性 実習「ヒップホップダンスはスポーツや日常行動の改善に役立つ」 講義で学習した「引き込み現象」を、ダンスを通して実際に体験してもらう。また、引き込み現象の克服方法について紹介する。 | |
| | 16:10～16:50 (40分) | 試験 筆記試験を行います。 | |
| 16:50～17:00 | 事後評価アンケート | | |
| 成績評価の観点 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 姿勢の重要性について理解できているか。 2. 人間にとっての動きの意味を理解しているか。 | | |
| 備考 | | | |